

事業名		道路管理					事業コード	1168001	計画コード	2-1-1				
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費				目	01	道路橋りょう総務費	
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課				担当名	道路管理担当			
施策		2-1	安全で快適な道路の整備											

1. 事業の概要

事業の対象	道路利用者
意図・目的	道路台帳の整備及び道路障害物の除去を行い、道路を管理し良好な状態に保つことにより、道路利用者が、安心安全に通行できる道路状態にする。
活動概要	台帳整備のため、市内道路・水路の現地踏査及び測量を実施する。 また、定期的な道路パトロールを実施し道路の安全な通行帯を確保する。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	台帳整備率	%	100	100	100	100	100	100		
	②	道路パトロール回数	回	27	26	26	26	26	26		
	③	市民要望対応件数	件	263	161	153	100	100	100		
	④										
	⑤										
	費用	事業費	予算額		千円	39,214	38,047	40,493		59,613	不用額
			決算額		千円	26,285	30,118	33,639			6,854
			財源内訳	一般財源		千円	26,249	30,085			33,601
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円	36	33	38	83.1%			
道路台帳については、年度内に発生した市道の道路区域の認定、変更等に伴い台帳の補正を適正に執行した。 道路パトロールや市民要望等により通行に支障を来たす事案を把握し、それに対する処置、予算化を実施した。											
成果の説明											

3. 事業の課題

課題	市道の境界未確定箇所を解消し、道路台帳の精度を高める必要がある。 要望対応は全ての解消には至っていない。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	道路台帳は、民地所有者からの境界確認や境界証明の機会を捉えながら、継続的にデータを更新して精度を高める。 道路の安全確保については、定期的の実施している道路パトロールや市民からの通報により迅速に対応を行い、安全安心な道路環境を確保していく。

事業名		道路維持					事業コード	1171001	計画コード	2-1-2			
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費			目	02	道路維持費	
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課				担当名	工務担当		
施策		2-1	安全で快適な道路の整備										

1. 事業の概要

事業の対象	市内在住通勤者及び和光市道利用者
意図・目的	道路及び道路付属物(側溝・街路樹等)を適正に管理し、快適な道路空間を維持し、良好な住環境の推進に寄与する。
活動概要	市道の路面清掃、側溝清掃、植樹帯管理を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	路面清掃延長	m	27,250	27,370	24,000	20,000	20,000	2,000		
	②	側溝清掃延長	m	788	358	559	1,500	2,200	1,500		
	③	植樹帯管理延べ面積	m ²	40,323	40,824	44,297	70,000	70,000	7,000		
	④	剪定本数	本	1,133	1,503	859	2,000	1,700	1,600		
	⑤	高木伐採(間引き含む)	本	0	0	55	50	100	100		
費用	事業費	予算額		千円	98,103	93,673	132,167		88,023	不用額	
		決算額		千円	95,986	92,046	126,541			5,626	
		財源内訳	一般財源		千円	95,986	92,046		126,541		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		95.7%
成果の説明	路面清掃 24,000m、側溝清掃 559m、除草等 44,297㎡、中高木剪定 859本、横断歩道に近接している視認性が悪い高木の伐採55本を行った。道路の維持については、住環境の向上や豪雨対策にもなることから、年間を通じて実施した。										

3. 事業の課題

課題	樹木の育成により、歩行空間及び通行の安全確保への影響が出ており、作業の人件費等も高騰しているため、限られた予算の中で適正な維持管理を継続することが難しい状況にある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	和光市街路樹マネジメント方針(R5.5月策定)に則り、街路樹及び植樹帯を管理していく。

事業名		道路補修					事業コード	1173001	計画コード	2-1-3			
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費			目	02	道路維持費	
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課				担当名	工務担当		
施策		2-1	安全で快適な道路の整備										

1. 事業の概要

事業の対象	市内在住在勤者及び和光市道利用者
意図・目的	道路が適切に維持管理され、道路が起因となる事故の心配が無く利用することができるようにする。
活動概要	市道維持としての舗装補修、歩道の段差解消、道路側溝の補修工事を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	舗装補修工事延長	m	911	3,382	3,124	1,000	1,000	1,000		
	②	舗装修繕箇所数	箇所	22	30	29	60	60	60		
	③	緊急箇所数	箇所	57	54	45	80	80	60		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	297,588	207,623	254,162		153,166	不用額	
		決算額		千円	281,701	198,765	229,409			24,753	
		財源内訳	一般財源		千円	149,075	100,240		107,799		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	132,626	98,525		121,610		90.3%
成果の説明	限られた予算の中で、舗装修繕 29箇所、緊急工事 45箇所を実施することで、車両、歩行者の通行の安全性を高めた。										
	備考：令和4年度予算17,079,000円を、令和5年度に繰越明許し、5年度事業として16,290,000円実施。特定財源として15,300,000円。 繰越工事の内容 市道1号線舗装修繕(L=272.9m)										

3. 事業の課題

課題	修繕箇所によっては、暫定的な修繕対応の場合もあるが、今後も早期対応することにより、効率的にかつ計画的に工事を実施する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	引続き道路状況の調査を実施し、より効果的な維持補修に努める。

事業名		道路整備					事業コード	1174001	計画コード	2-1-4				
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費				目	03	道路新設改良費	
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課				担当名	工務担当 道路管理担当			
施策		2-1	安全で快適な道路の整備											

1. 事業の概要

事業の対象	道路利用者及び周辺住民
意図・目的	道路拡幅、歩道の設置により安全な道路となっているようにする。
活動概要	道路の拡幅・歩道の設置工事を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	道路改良延長	m	177	337	111	50	50	50		
	②	道路用地買収面積	m ²	0	57	6	30	30	30		
	③	歩道整備延長	m	142	17	20	50	50	50		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	121,694	167,870	113,890		37,659	不用額	
		決算額		千円	114,660	147,475	93,336			20,554	
		財源内訳	一般財源		千円	18,114	22,132		13,236		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	96,546	125,343		80,100		82.0%
成果の説明	道路拡幅用地として2路線、5.87㎡を買収した。										
	道路改良工事を6路線111m実施した(うち歩道整備 20m含む)。歩行者等の安全な通行を目的として実施した。										
	備考: 令和4年度予算のうち99,840,000円を令和5年度に繰越明許し、令和5年度事業として87,190,000円実施した。特定財源として80,100,000円。										
	繰越の内容										
	市道245号線道路改良工事 2工区(L=99.8m) 新河岸川河川改修事業に伴う新倉橋条件護岸工事の負担金(埼玉県朝霞県土整備事務所の施工)										

3. 事業の課題

課題	安全のために道路整備を必要とする箇所は多いが、用地の取得が難しく、計画的な整備が難しい状況にある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	地域の開発や交通量の変化を踏まえ、機会を捉えて土地所有者に交渉を行い、道路用地の取得に努めていく。

事業名		水路管理・改修					事業コード	1175002	計画コード	2-1-5				
款	08	土木費			項	02	河川費				目	01	河川総務費	
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課				担当名		工務担当		
施策		2-1	安全で快適な道路の整備											

1. 事業の概要

事業の対象	市内在住者
意図・目的	豪雨時において雨水の処理が適切になされるようにする。
活動概要	水路の整備及び清掃を行う。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	5年度 目標値	6年度 目標値	7年度 目標値			
	①	水路浚渫延長		m	52	318	472	500	500	500		
	②	除草面積		m ²	12,562	11,324	5,242	10,000	10,000	10,000		
	③	水路改修延長		m	33	56	27	50	50	50		
	④											
	⑤											
	費用	事業費	予算額		千円	8,719	12,316	18,055		13,784	不用額	
			決算額		千円	8,158	12,201	17,881			174	
			財源内訳	一般財源		千円	8,158	12,201		17,881		執行率
				特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		99.0%
成果の説明	水路浚渫工事を472m、水路清掃・除草業務を5,242㎡、水路改修工事を27m行った。											

3. 事業の課題

課題	定期的に水路の浚渫・除草等を実施しなければ、雨水排水に支障をきたしてしまうため、実施時期を含めた効率的な対応が求められる。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	水路の状況把握に努め、支障箇所を速やかに対策を講じ、良好な状態を維持する。

事業名		駅南口広場維持管理				事業コード	1183002	計画コード	2-1-6		
款	08	土木費		項	03	都市計画費		目	05	街路事業費	
所属名(部局・課)		都市整備部			道路安全課			担当名	工務担当		
施策		2-1	安全で快適な道路の整備								

1. 事業の概要

事業の対象	広場利用者
意図・目的	交通機関が利用しやすい環境にする。
活動概要	駅南口駅前広場の補修及び改修、広場清掃、トイレ清掃、除草等、維持管理を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	修繕件数	件	5	2	5	5	5	5		
	②	剪定及び除草件数	件	4	3	5	2	2	2		
	③	緊急工事件数	件	0	0	0	0	0	0		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	6,695	6,477	6,631		6,850	不用額	
		決算額		千円	6,067	5,745	6,261			370	
		財源内訳	一般財源		千円	6,067	5,745		6,261		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		94.4%
成果の説明	駅南口広場の維持管理として、トイレ清掃、広場清掃及び樹木管理を行っている。 修繕については、広場のトイレの修繕を実施した。										

3. 事業の課題

課題	経年による劣化も見られることから、より一層効率的な運営が求められる。
----	------------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	適正な事務執行に努めたい。

事業名		外環蓋掛け上部(丸山台地区)利用					事業コード	1016025	計画コード	2-2-1				
款	02	総務費			項	01	総務管理費				目	08	企画費	
所属名(部局・課)		企画部				資産戦略課					担当名	計画推進担当		
施策		2-2	利便性の高い地域公共交通網の形成											

1. 事業の概要

事業の対象	市民及び公共交通の利用者
意図・目的	駅を中心とした地域の交通ターミナル化を推進し、公共交通機関等の更なる利便性の向上を図る。
活動概要	外環上部丸山台地区利活用の実現性の確認を踏まえて、活用方針、導入機能、利用方策、かつ民間活力導入を踏まえた事業性の検討等を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	関係団体との協議回数	回	6	4	10	8	8	8	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	25	25	25		27	不用額
		決算額		千円	14	12	10		15	
		財源内訳	一般財源		千円	14	12		10	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	40.0%
成果の説明	外環上部丸山台地区利活用に係るNEXCO東日本と協議を行った。また、市民のニーズを図る目的で、公募市民による公共空間利活用プロジェクトを立ち上げ、広場の利活用の可能性を確認した。 ■NEXCO東日本との協議件数 1件 道路占用の範囲内で利活用していくための条件について、協議を行った。 ■公共空間利活用プロジェクトの件数 9件 (内訳) プロデュース会議 8回 プロデュース企画 1回									

3. 事業の課題

課題	敷地には高低差があり、インフラが引きこまれていない。また、周辺道路の交通量が多いにも係わらず道路付けが悪いなど、利活用するには一定の制約がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市の財政負担を抑えるために民間活力の導入を前提に利活用の検討を進める。

事業名		市内循環バス運行					事業コード	1063001	計画コード	2-2-2				
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費				目	04	交通安全対策費	
所属名(部局・課)		都市整備部				公共交通政策室					担当名	公共交通政策担当		
施策		2-2	利便性の高い地域公共交通網の形成											

1. 事業の概要

事業の対象	一般市民
意図・目的	市民の足として更なる利便の向上を図る。
活動概要	交通不便地域の住民及び交通弱者の足を確保する。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	年間運行本数	便	7,555	7,561	9,658	12,859	16,820	16,062		
	②	年間乗降者数	人	126,095	146,910	155,366	146,483	104,283	130,080		
	③	運送収入	千円	6,209	7,704	9,240	7,153	14,949	15,296		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	51,431	48,821	64,096		77,028	不用額	
		決算額		千円	50,761	47,542	62,947			1,149	
		財源内訳	一般財源		千円	50,761	47,542		61,947		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		1,000		98.2%
成果の説明	5年度実績値										
		R5.4.1～R5.12.28			R6.1.4～R6.3.31			合計			
		東武バスウエスト	和光輸送	東武バスウエスト	和光輸送						
	運行日数	272日(平日185日 土休日87日)			88日(平日58日 土休日30日)						
	運行本数	23便×185日+17便×87日 5,734便			28便×58日+22便×30日 2,284便	20便×58日+16便×30日 1,640便	9,658便				
	乗降者数	124,117人			22,189人	9,060人	155,366人				
	運行収入	5,900,572円			2,456,421円	882,881円	9,239,874円				
	令和6年1月の運行見直しにより、高齢者の乗車料金が有料となったことから利用者の減少を見込んでいたが、想定以上の利用があったことから、目標値よりも多くの運送収入が得られた。										

3. 事業の課題

課題	令和6年1月に実施した市内循環バスの運行見直しにより、運賃及び優待制度の変更による割高感や乗降のしやすさへの対応が求められる。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	運行見直しによる利用状況等を注視し、引き続き評価・検証を行っていく。

事業名		地域公共交通				事業コード	1172200	計画コード	2-2-3		
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費	
所属名(部局・課)		都市整備部			公共交通政策室			担当名	公共交通政策担当		
施策		2-2	利便性の高い地域公共交通網の形成								

1. 事業の概要

事業の対象	一般市民
意図・目的	全ての市民の移動の自由の確保に向けて、利便性の高い地域公共交通網の形成を図る。
活動概要	外環側道部の道路空間を活用して、地域拠点間(和光市駅～新倉PA)を接続する自動運転サービス導入の事業化を図る。 また、自動運転サービスを軸として市内全域の地域公共交通の円滑化を図るため、地域公共交通計画における施策の実施及び地域公共交通会議の運営を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	未来技術地域実装協議会開催数	回	3	2	2	2	2	2	
	②	住民説明会 (和光版MaaSにおける自動運転サービス導入事業)	回	2	1	2	2	2	2	
	③	地域公共交通会議開催数	回	5	3	2	3	3	3	
	④	公共交通研究会開催数	回	4	9	2	4	4	4	
	⑤	住民説明会(地域公共交通計画)	回	1	1	1	1	1	1	
費用	事業費 財源内訳	予算額		千円	40,150	261,351	294,693		69,959	不用額
		決算額		千円	39,723	221,614	265,119			29,574
		一般財源		千円	27,444	38,905	41,128			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	12,279	182,709	223,991			90.0%
成果の説明	①未来技術地域実装協議会における協議事項等 ・第7回:1期社会実証の概要について ・第8回:1期社会実装に向けた方針(案)について									
	②住民説明会(和光版MaaSにおける自動運転サービス導入事業)の概要 ・自動運転サービス導入に関する2期区間道路整備及び社会実証について オープンハウス形式/参加者数44名 ・自動運転サービス導入に関する2期区間バス専用車線整備工事について オープンハウス形式/参加者数22名									
	③地域公共交通会議における協議事項等 ・第10回:和光市内循環バス運行見直しに伴う運行事業者選定について、和光市内循環バス運行見直し後の評価・検証について ・第11回:和光市内循環バス運行見直しに係る一部運行路線の変更について									
	④公共交通研究会における意見交換等 ・第15回:ワークショップ(市内循環バス運行見直しに向けた進捗について、新たな運行ルートの名称について) ・第16回:ワークショップ(市内循環バス運行見直しに伴うルート名称の検討及びバス停案内の検討について)									
	⑤住民説明会(地域公共交通計画)の概要 ・市内循環バス運行見直し説明会 対面方式/参加者数96名/市内循環バスの運行ルート、利用方法、優待乗車証の申請等についての説明									
【備考】令和4年度予算140,027,900円を5年度に繰越明許し、5年度事業として120,243,200円を実施。										

3. 事業の課題

課題	自動運転サービス導入事業に関する市民への周知・理解が不足しているため、説明会等により市民への更なる周知・理解を進めていく必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	2期区間のバス専用車線の整備が完了した後に2期社会実証を行い、そこで得た課題や効果を検証し、本格社会実装を目指していく。

事業名		交通安全対策						事業コード		1062001		計画コード		2-3-1			
款	08	土木費				項	01	道路橋りょう費				目	04	交通安全対策費			
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課						担当名		交通安全担当			
施策		2-3		交通安全対策の推進													

1. 事業の概要

事業の対象	一般市民、交通安全対策事業推進団体
意図・目的	機関・団体が連携を図り、交通安全意識の高揚と市内における交通事故の撲滅を目指す。
活動概要	季節ごとに行われる交通安全運動を効果的に展開し、市民総ぐるみで交通安全対策を推進する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	交通安全運動街頭啓発活動		回	1	0	3	4	3	3	
	②										
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	24,246	31,909	30,055		36,645	不用額	
		決算額		千円	17,237	29,641	25,838			4,217	
		財源内訳	一般財源		千円	0	14,641		25,838		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	17,237	15,000		0		86.0%
成果の説明	交通安全啓発活動については、春と夏、秋に計3回街頭啓発を実施。その他冬には啓発物品の配布を実施した。 交通安全対策のための注意看板を、10枚設置した。 交通安全教室については、市内9校の小学校において1年生への横断歩道の渡り方指導と4年生への自転車の通行方法指導を実施。みなみ保育園では横断歩道の渡り方指導を実施した。その他、和光特別支援学校での交通安全教育の一環として依頼を受け、市役所で交通ルールについて講座を実施した。										

3. 事業の課題

課題	交通安全事業推進団体会員の高齢化や新規加入者減少が年々進行しており、交通安全対策の担い手が減少している。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	交通安全啓発活動及び交通安全教室の実施は継続的に行うことが重要である。 例年交通安全教室を実施している小学生に加え、その他の世代へも交通安全運動等を通して啓発活動を行っていく。

事業名		駅南口自転車駐車場管理運営				事業コード	1064001	計画コード	2-3-2		
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費	
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課		担当名	交通安全担当		
施策		2-3	交通安全対策の推進								

1. 事業の概要

事業の対象	一般市民
意図・目的	自転車駐車場利用者が安全で快適に利用できるようにする。
活動概要	駅に隣接した自転車駐車場であり、利用しやすいよう管理・運営に努める。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	自転車駐車場使用料	千円	80,434	88,463	89,753	90,000	90,000	90,000		
	②	自転車駐車場利用者数(定期)	人	26,862	28,708	29,325	28,800	29,500	29,500		
	③	自転車駐車場稼働率(定期)	%	83.9	89.6	96.7	95.0	97.0	97.0		
	④	自転車駐車場利用台数(一時)	台	135,459	162,089	169,884	200,000	170,000	170,000		
	⑤	自転車駐車場稼働率(一時)	%	82.7	98.9	75.6	90.0	80.0	80.0		
費用	事業費	予算額		千円	49,153	51,292	65,860		51,662	不用額	
		決算額		千円	48,481	50,142	62,040			3,820	
		財源内訳	一般財源		千円	0	5,350			0	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	48,481	44,792			62,040	94.2%
成果の説明	プロポーザルによる事業者選定により、令和5年度から委託事業者が変更となり、券売機等の設備更新により合理的運用が進んだ。 新型コロナウイルスの流行等により落ち込んでいた定期利用者数が増えたことで、安定的な利用者が確保されている。 駅前の放置自転車の防止に資し、利用者に、安心して利用できる駐車場を提供した。										

3. 事業の課題

課題	より効率的で利用者へのサービス向上に資する運営体制の検討が必要である。また、設備の老朽化が進んでいるため、適切なメンテナンスと設備更新に課題がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	駅に直結した自転車駐車場として、利用者が多くニーズがある。事業課題への取り組みを続けながら、運営を継続する。

事業名		放置自転車対策						事業コード		1064002		計画コード		2-3-3			
款	08	土木費				項	01	道路橋りょう費				目	04	交通安全対策費			
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課						担当名		交通安全担当			
施策		2-3		交通安全対策の推進													

1. 事業の概要

事業の対象	一般市民
意図・目的	放置禁止区域の公共空間を保持し、また環境美化を促進する。
活動概要	放置禁止区域において月4回程度の放置自転車等の撤去を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	撤去の回数	回	72	72	48	48	48	48	
	②	撤去した台数	台	256	209	177	150	180	180	
	③	返還台数	台	96	62	55	50	55	55	
	④									
	⑤									
費用	事業費 財源内訳	予算額		千円	14,300	10,075	8,408		8,366	不用額
		決算額		千円	13,454	9,945	8,195			213
		一般財源	千円	0	742	495			執行率	
			特定財源（国県補助、利用者負担等）		千円	13,454			9,203	7,700
成果の説明	放置自転車等撤去及び返還台数									
	種別	撤去		返還		返還率				
	自転車	176	台	55	台	31.2	%			
	原動機付自転車	1	台	0	台	0	%			
	外環上部に設置していた無料駐輪場の整備と有料化への転換を図るため、令和4年度から公益財団法人自転車駐車場整備センターが運営。準公営での安心して駐輪できるスペースが駅近辺に増えたことから、撤去台数は継続的に減少している。 令和5年度から撤去日を減らしているが、年間を通して放置自転車の大きな増加等は見られなかった。									

3. 事業の課題

課題	原動機付自転車に特定小型原動機付自転車(電動キックボード)の区分が追加される等、モビリティの多様化が進んでいる。従来の自転車・原動機付自転車と形態が異なったり、区別がつきにくいものも増加してきているため、市内での普及状況や法改正等を注視しながら対応を進めていく必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	撤去数の増加等の変化に注意しながら、このまま継続する。

事業名		交通安全施設整備				事業コード	1172002	計画コード	2-3-4		
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費	
所属名(部局・課)		都市整備部				道路安全課		担当名	交通安全担当		
施策		2-3	交通安全対策の推進								

1. 事業の概要

事業の対象	一般市民
意図・目的	道路利用者の安全対策を図る。
活動概要	道路交通に付随する交通安全施設(路面表示・道路反射鏡等)を整備することにより、交通事故を防止する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	路面標示の施工延長	m	4,035	816	1,688	7,000	7,000	7,000		
	②	道路反射鏡の設置及び修繕	基	19	20	17	30	30	30		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	17,802	18,872	20,632		18,817	不用額	
		決算額		千円	16,839	14,846	19,982			650	
		財源内訳	一般財源		千円	15,400	5,651			11,752	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,439	9,195			8,230	96.8%
成果の説明	道路照明灯										
	設置		14	箇所							
	撤去		0	箇所							
	修繕		39	箇所							
	道路反射鏡										
	設置		5	箇所							
	撤去		1	箇所							
	修繕		12	箇所							
	道路標示										
	実線・破線		975.0	m							
	矢印・文字等		459.6	m							
	カラー標示		90.0	m ²							
	線消去		163.2	m							
	車線分離標										
	設置		36	本	(繰越明許)						
	道路照明灯、道路反射鏡による視界の確保や路面標示による注意喚起により、交通事故防止のための安全施策を実施した。道路標示についても、安全啓発への適切な施工が実施された。(施工延長は目標値を下回っているが、カラー標示を広く施工している) 令和4年度予算1,650,000円を令和5年度に繰越明許し、令和5年度事業として1,287,000円を実施。										

3. 事業の課題

課題	道路パトロールや市民要望等により、交通安全施設の適宜改善を実施しているが、全てを満足させる対応には至っていない。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	交通量や緊急度、通学路としての指定状況を基に、計画的な整備を継続し、交通事故等の抑制の一助となるように努める。